

平成 21 年 10 月 15 日

各位

会 社 名 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
 代表者氏名 代表取締役社長 小 澤 洋 介
 (コード番号：7774 NEO)
 本店所在地 愛知県蒲郡市三谷北通6丁目209番地の1
 問合せ先 取締役経営管理部長 大 林 正 人
 電話番号 0533-66-2020 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 7 月 30 日付当社「平成 22 年 3 月期第 1 四半期決算短信（非連結）」にて発表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期累計期間 業績予想数値との差異（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	116	△677	△688	△690
今回発表予想 (B)	96	△557	△571	△571
増減額 (B-A)	△19	119	116	118
増減率 (%)	△16.7%	—	—	—

2. 通期 業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	361	△1,150	△1,173	△1,177
今回発表予想 (B)	309	△1,107	△1,139	△1,142
増減額 (B-A)	△51	42	34	34
増減比率 (%)	△14.2%	—	—	—

3. ご参考：前期の実績（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第 2 四半期累計期間	60	△564	△570	△588
通期	114	△1,102	△1,113	△1,133

4. 修正の理由

自家培養表皮ジェイスは当社の想定を超える注文をいただき、特に第2四半期においては積極的に営業活動を展開した結果、第1四半期よりも多くの注文をいただきました。一方でジェイスの保険償還基準は、保険適用における留意事項で課せられた施設基準と算定限度を満たす場合のみです（平成21年1月13日付当社開示資料「自家培養表皮ジェイス：保険適用に関する留意事項について」をご参照下さい）。当社の売上は保険償還基準に連動するため、当該償還基準に合致する注文を獲得するよう営業活動を展開しましたが、当累計期間では保険償還基準を満たさない条件でのジェイス出荷（人道的観点から当社負担による出荷）が多くを占めました。また、培養中に患者様が亡くなり売上計上できない事例が数例ありました。現在、保険適用における留意事項の見直しを厚生労働省に依頼していますが、今後も売上計上できない注文を相当数いただくものと想定するため、当初計画を2割弱修正します。

自家培養角膜上皮は株式会社ニデックからの開発委託を受け、イタリアの角膜バンクであるベネトアイバンクから技術を導入し開発を進めています。確認申請の審査過程で医薬品医療機器総合機構から発せられた照会事項に対応するために、昨年度に引き続き、追加動物実験を進めています。第2四半期累計期間では業務遂行の効率化を図り、受託開発費は計画を下回りました。これを反映し、当初計画を約1割修正します。

ラボサイトシリーズは販売開始以降順調に売上を伸ばしてきましたが、昨今の景気低迷を受け、ユーザー企業がラボサイトを使用する量や頻度が減少傾向にあります。これを反映し、当初計画を1割弱修正します。

以上より、第2四半期累計期間での売上は当初予想よりも19百万円減少し、96百万円となる見込みですが、減価償却費及び支払手数料等の経費削減により当期純損失は約118百万円改善し、△571百万円となる見込みです。通期での売上は当初予想よりも51百万円減少し、309百万円となる計画ですが、経費削減等に努めることにより当期純損失は約34百万円改善し、△1,142百万円となる計画です。

なお、平成22年3月期通期の売上高予想の内訳は、次のとおりです。（単位：百万円）

事業セグメント	内訳	修正前売上高	修正後売上高
再生医療製品事業	自家培養表皮ジェイス	240	200
	自家培養角膜上皮（受託）	70	63
研究開発支援事業	ラボサイトシリーズ	50	46
合計		361	309

（業績予想に関する注意事項）

上記に記載しました予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化などにより上記予想数値と異なる場合があります。

以上